

# 目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、  
該当ページまで移動します。**

<a href="#">出席委員</a> . . . . .	2
<a href="#">討論及び採決</a> . . . . .	4
<a href="#">特別委員会報告書の作成について</a> . . . . .	10

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。  
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場  
合があります。

令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

令和2年 利府町議会決算審査特別委員会会議録（第5号）

---

令和2年9月11日（金曜日）

---

出席議員（なし）

---

出席委員（17名）

委員長	木村 範雄 君	
副委員長	伊勢 英昭 君	
委員	今野 隆之 君	渡邊 博恵 君
	鈴木 晴子 君	西澤 文久 君
	伊藤 司 君	坂本 義也 君
	鈴木 忠美 君	安田 知己 君
	土村 秀俊 君	高久 時男 君
	及川 智善 君	永野 渉 君
	遠藤 紀子 君	渡辺 幹雄 君

---

欠席委員（1名）

羽川 喜富 君

---

説明のため出席した者

町 長	熊谷 大 君
副 町 長	櫻井 やえ子 君
総務課長 兼選挙管理委員会事務局長	鈴木 則昭 君
秘書政策室長	鎌田 功紀 君
財務課長	後藤 仁 君
税務課長	折笠 ゆき江 君
町民課長	鈴木 真由美 君
生活安全課長	郷家 洋悦 君

令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

保健福祉課長	伊藤文子	君
子ども支援課長	鈴木義光	君
都市整備課長	鈴木喜宏	君
産業振興課長 兼農業委員会事務局長	嶋正美	君
上下水道課長	名取仁志	君
オリンピック推進室長 兼新型コロナウイルス臨時給付対策室長	佐藤浩幸	君
収納対策室長 兼収納整理班長	鈴木啓義	君
文化複合施設推進室長	近江信治	君
会計管理者兼会計室長	菅野勇	君
教 育 長	本明陽一	君
教 育 次 長	宮本利浩	君
教育総務課長	鈴木久仁子	君
生涯学習課長	大谷浩貴	君
代表監査委員	宮城正義	君

---

事務局職員出席者

事 務 局 長	庄司英夫	君
主 幹	大枝大将	君
主任主査	姉崎裕子	君

令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

午前9時28分 開 議

○委員長（木村範雄君） おはようございます。

これより決算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は16名です。

暑い方は、上着を脱ぐことを許可します。

これより議事に入ります。

本特別委員会に付託された令和元年度利府町各種会計決算について、討論、採決を行います。

初めに、認定第1号 令和元年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。討論ありませんか。最初に反対討論。9番 安田知己君。

○安田知己委員 認定第1号 令和元年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、日本共産党議員団として反対の討論を行います。

令和元年度一般会計決算は、歳入総額157億6,523万930円、歳出総額150億2,440万7,092円、前年度と比べて歳入で8億9,594万6,786円の増額、歳出で14億4,017万2,658円の増額でありました。

この決算には、町民の暮らしを支える事業や町民の要望に基づき進められている事業など、数多く計上されています。例えば夏の危機的な猛暑を踏まえ、児童生徒の命と健康を守り、安心して学校生活を送れる事業として、小中学校のエアコン設置に5億2,778万5,660円、そして多くの町民の長年の要望でもある新図書館を含む文化複合施設建設に17億9,770万900円、また子育て世帯の大きな経済的支援となる子ども医療費助成に2億2,081万4,030円を初め、町民の生活と密接に関わる数多くの事業が実施されていることは認めるものであります。

しかし、今回の決算では、町民の暮らしや願いに十分に答え切れていない課題や、消費税増税対策の事業など、賛成できないところもあります。以下、その部分を指摘します。

1点目。子ども医療費助成の500円負担についてです。この事業は利府町に住んでいる18歳までの子供に対し、保険医療の自己負担分を助成する制度であります。しかし、小学生以上の子供には1医院1医療機関ごと月の初回到500円の自己負担があります。県内では、先進的に子育て支援に取り組んで来た利府町として、500円の自己負担は廃止すべきだと思います。

2点目。小中学校徴収金支援事業の復活についてです。子ども医療費の医療費助成を18歳まで拡大したことに伴い、それまで助成されていた学校徴収金支援事業が廃止されました。少なくない保護者からは、学校徴収金支援事業がなくなったことで、教育費の負担が増えたとの意

## 令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

見が寄せられています。コロナ禍の中でもあり、子育て世帯の支援を強めることが今は必要です。それを踏まえれば学校徴収金への助成は再開すべきであります。

3点目。高校、大学などに通う学生への奨学金制度創設の取組がなかった点であります。県内にある全ての町村は、自治体独自の奨学金制度を実施しています。子育て世帯の経済的支援として、利府町としてもこの事業創設に向けての検討が必要であることを指摘しておきます。

4点目。この決算の中には、国が進めた令和元年10月からの消費税10%増税対策として、低所得者、子育て世帯主向けプレミアム付商品券事業が含まれています。景気が悪化している中で増税は、町民の暮らしだけではなく、文化交流センター創設を初め、あらゆる町の事業にも深刻な影響を及ぼすものであります。

消費税は、1989年、平成元年4月1日に日本で初めて導入されました。その後、5%、8%と国民の反発を受けながらも段階的に引き上げられ、2019年、令和元年10月には10%まで引き上げられました。日本経済は、消費税増税を実施するたびに景気が激しく落ち込んでいます。そのことは政府自ら認めているので、その対策として低所得者、子育て世帯主向けプレミアム付商品券を発行し、消費税増税の影響を緩和する事業を実施しました。しかし、商品券発行対象者は、4,642人いたにもかかわらず、購入したのは2,818人、60.7%に過ぎず、消費税増税の緩和対策としては不十分だったと思います。一方で、消費税増税は、これからもずっと続くわけですから、この対策が根本的な解決策にはならないことははっきりしています。

この決算で実施されたプレミアム付商品券事業は、政府の号令により町が実施したわけですが、町民の暮らしや町の財政にも深刻な影響を与えることになる消費税増税推進の対策としての商品券事業を認めるわけにはいかないことを指摘しておきます。

以上の点を踏まえまして、令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定に反対いたします。

○委員長（木村範雄君） 次に、賛成討論。14番 永野 渉君。

○永野 渉委員 認定第1号 令和元年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場から討論いたします。

歳入総額157億6,523万1,000円、歳出総額150億2,440万7,000円となり、歳入歳出差引額が7億4,082万4,000円で、翌年へ繰越すべき財源1億7,545万5,000円を除き、5億6,541万9,000円が実質収支額となり、そのうち4億円を基金に繰入れました。大変厳しい経済状況の中、各種施策がほぼ達成されたものと高く評価し、賛成するものであります。

それでは、令和元年度施政方針に示された重点施策を検証してまいります。

## 令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

まず初めに「暮らしを豊かに」についてであります。全国的に少子高齢化が進む中、地域コミュニティ機能が低下しないよう、町民の皆様と顔が見える対話を重視しながら、行政を進めたことは評価するものであります。また、公共交通網の充実についても、従来より利用者本位に近づけているものと思われ。さらに町の玄関口である利府駅及びコミュニティセンターも周囲の整備を含めておおむね完了するところであります。

次に、2つ目の「教育、文化を豊かにする」についてであります。町の未来を担う人づくりへとつながる教育の充実を図る施策として、志教育や十符っ子ブラザーシップを中心に、各シップを今まで以上に積極的に取り組んで来たことは、高く評価いたします。また、各小中学校にエアコンを設置し、学習環境整備に努めたこと、さらに町民の念願である文化複合施設の建設の進捗率60%となり、来年2月の完成に向けて鋭意努力していることは町民の期待するところであります。

最後に、「経済を豊かに」についてであります。観光を中心とした事業を進め、特産物のPRも含め、収益を高めるため観光大使の協力を得て積極的に推進していることや、特産品の開発にも力を注いでいることに敬意を表するものです。企業誘致についてもトップセールスを主軸とした活動を行いつつも、まだまだ目標には届かず、今後の努力に期待するものです。

令和元年度も年度末に新型コロナウイルスの世界的な感染により、行政も対応に追われ、通常業務と同様に町民の生活と財産を守るため、使命を果たしていることに最大限の敬意を払い、令和元年度利府町一般会計歳入歳出決算の賛成討論とします。

○委員長（木村範雄君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第1号 令和元年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（木村範雄君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第2号 令和元年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

## 令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

討論ありませんか。最初に反対討論。11番 土村秀俊君。

○土村秀俊委員 では、認定第2号 令和元年度利府町国民健康保険特別会計決算の認定に反対討論を行います。

令和元年度の国保会計の決算は、歳入が29億1,500万円、歳出が28億6,500万円で、5,000万円の差引残額となりました。この歳入歳出で実施をしている国保事業は、町民の健康と福祉の増進に寄与する施策であることは大いに評価するものです。

さて国保の決算で、国保税の収納率や未納税額を見ると、国保財政が厳しい状況にあることがうかがえます。この要因の1つは、長引く不況や消費税増税などの経済的影響で、国保加入者の収入が減少し、負担能力が弱まっていることにあり、それが滞納状況や滞納金額にも反映されております。もう1つの要因は、1984年の国保法改定を皮切りに、国が地方自治体への国保事業の国庫補助を削減してきたことにあります。これは国保事業を実施する全ての自治体に関わる構造的な問題であり、全国知事会も国費を1兆円投入するよう求めております。全国市長会、町村会も保険料を引き下げるために公費増額を国に求めております。利府町としても国庫負担金を以前のように、医療費の45%まで戻すよう国に強く求めることを指摘しておきます。

そして短期保険証や資格証明書の問題についてであります。令和元年度は、短期保険証が136世帯、資格証明書が7世帯に発行されておりました。当局の発行理由は、長期間の滞納や納税相談に応じない場合に発行するとの説明でありました。しかし、短期保険証や資格証明書を発行されたことで、保険証の期限切れや窓口で10割自己負担という状況など、医療を受ける権利や生存権にも関わる懸念が生じます。さらに短期保険証、資格証明書の発行は、面談での納税相談を前提としているわけですが、コロナ感染予防の観点から言っても、慎重な対応が必要であり、当面はコロナの状況が終息するまで、短期保険証などの発行は即時中止すべきでありました。

以上の点を述べ、令和元年度の国保会計決算の反対討論といたします。

○委員長（木村範雄君） 次に、賛成討論。12番 高久時男君。

○高久時男委員 それでは認定第2号 令和元年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について、賛成の立場で討論いたします。

令和元年度の歳入の中で、国民健康保険税は算定方式を改め、資産割を廃止した所得割、均等割、平等割で課税されました。当初、資産を持たない加入者への負担が増えるとの議論もありましたが、3方式による税率の上昇を極力抑えたため、国保税の収入は平成30年度より3,350

## 令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

万円減少した5億6,904万円でありました。歳入総額も29億1,527万円で、平成30年度より1億3,993万円減少しております。

歳出では、保険給付費が20億9,456万円と平成30年度より5,104万円減少しており、歳出総額も平成30年度より1億2,287万円減の28億6,505万円となりました。予算案では国保税の算定方式を改めることで生じる不足額を財政調整基金などの繰入れで補う考えでしたが、歳出が減ったため、基金の繰入れも例年並みで済んでおります。

令和元年度は、保険給付費等が減少し、歳出を抑えられましたが、高齢化が進む本町において、国民健康保険特別会計の歳出が年々増えていくことは避けられません。収入未済や不納欠損などが生じないように、加入者と向き合い、国保税の適正な課税を行い、引き続き町民の健康を守っていくことを期待し、令和元年度の決算は適正に執行されたと考え、賛成し、認定いたします。

○委員長（木村範雄君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第2号 令和元年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（木村範雄君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第3号 令和元年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第3号 令和元年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。



令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第4号 令和元年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第4号 令和元年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第5号 令和元年度利府町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第5号 令和元年度利府町下水道特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第6号 令和元年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、

採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第6号 令和元年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第7号 令和元年度利府町水道事業会計決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第7号 令和元年度利府町水道事業会計決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木村範雄君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

以上をもって、本委員会に付託された令和元年度利府町各種会計決算の審査は全部終了しました。

なお、**委員会報告書の作成**については、私に一任願います。

これで利府町議会決算審査特別委員会を閉会します。

御苦労さまでした。

午前9時48分 閉 会

**令和2年9月決算審査特別委員会（9月11日金曜日分）**

上記会議の経過は、事務局長庄司英夫が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

令和2年9月11日

委員 長